



図書館の充実かつ効率的な運営について

池田町図書館設置の意義と目的は何か。開館時間の45分の延長の効果は。

図書館長

自発的に自由に学べる図書館を目指し、幅広い資料収集、レファレンスサービスの充実、児童サービスを積極的に進めている。また、郷土資料の収集も重点的に行っている。延長時間帯の利用者数の効果は少ないが、いわゆる図書丸君活動の保育園児の来館時間が早まったことにより、園の運営と来館時間に余裕ができた。

6月から可能になった指定場所でのペットボトルの持ち込みは、全館可能でもよかったです。またネット予約システムは具体的にいつごろどのような内容で進められるのか。

図書館長

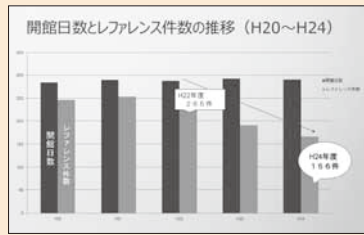
ペットボトル全館解禁については検討する。ネット予約システムは、平成27年2月の図書館のシステム更新後に取り組む。

大野町図書館や県立図書館のような国立国会図書館のデジタル資料の無料閲覧できるシステムを導入できないか。また、ホームページをより一層洗練され、かつ、より利便性の高いものにリニューアルできないか。

図書館長

国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスは検討してないが、6月より会話を目立たなくし、お子さんと一緒に図書館を利用しやすいように、第2・第4水曜日に館内BGMを流す。ホームページはシステム更新時にトップページから見やすいようにリニューアルする。

図書（雑誌）購入の判断はどのような観点から行われているのか。また、住民の希望や意見を吸い上げることはあるか。またレファレンスの件数は、22年度265件から24年度では166件と40%、およそ100件減少した。その要因はどこにあると考えるか。



図書館長

図書購入は、図書のリクエストや予約状況を参考にしながら、選書会議を週1回開催して選書している。また、雑誌については長く出版され、保存も考慮し購入している。また、地元雑誌などは優先的に購入している。レファレンス件数の減少は、パソコン、スマー

トフォンなどの普及により、自宅で事前調査ができるようになったことが原因と考える。今後、より図書館でのレファレンスしやすい環境整備に努めたい。

行政が図書館を直接運営しなければいけない意義に関してどのように考えるか。また図書館への指定管理制度を導入することに対してどのように考えるか。

公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスの整備について

現在、全国の公共施設で公衆無線LAN、Wi-Fiサービスを実施している自治体が増えてきている。住民サービスの向上、観光客への利便性、災害時における通信手段の確保などがその目的。さらに行政や教育現場の効率化のためにも必要。また費用対効果も大きいと考えるが。

産業課長

避難所における安否確認等の情報通信の手段という点で、公衆無線LANが一定の効果があり、県内自治体でも整備が進められていることは認識している。西美濃夢源回廊協議会では、各市町の観光施策や道路整備などの観光インフラ事業について、毎年県への要望活動を行っているが、それぞれの

町長

行政としては、永続的・継続的・安定的に住民の皆さんに本を見てもらう、読んでもらう、新しい情報を得てもらうということ。図書館について指定管理の導入は今のところ考えていない。

市町の考え方もあり、補助事業等の活用も含めて中身を慎重に吟味していく必要がある。なお、町の公共施設における公衆無線LANの整備には、今後関係課とも調整しながら施設の設置目的、環境、利用者のニーズ、セキュリティ面、費用対効果を十分勘案しながら検討する。

町長

手始めに、池田温泉と道の駅、総合体育館や中央公民館で整備を進められないか。

池田温泉と道の駅に関してはケーブルを利用しセキュリティを考慮し検討していく。また、山麓一帯に関しては今後の整備の中で十分考えていく。